

2019年 7月 5日発行 第165号

N.P.O.

Global SOROBAN Institute

Seminar Report

通称:N.P.O.法人 I.M. そろばんセミナーレポート

Think with SOROBAN



発行 N.P.O.法人 I.M.そろばん

～ も く じ ～

巻頭言	1
ヒロヤの独り言	4
検定試験について	5
サイコウのまなび	6
講演会の感想文	7
事務局だより	9

“ 卷頭言 ”

資源の価格は“0円”です

現在享受している豊かな生活を支えているのは、科学技術のお蔭であると同時に、資源の消費が無ければならないと申しました。(2019.1.) 資源は、原材料やエネルギーとして消費され、私たちの生活を快適にしてくれています。

目に見える状態で残っている資源もありますし、エネルギーとして使って、目に見える状態で残らない資源もあります。どちらにしろ、私たちは正当な対価を支払って、資源を消費していると思っています。

資源を提供する方は、高く売れる方が良いです。資源を買う方は、安く買える方が良いです。それぞれの気持ちが合わさって、適度なところで値段は決まることになります。自由競争をしている完全な市場では、供給者側と需要者側の意見が一致して、物価が一つ決まります。一物一価の法則といわれるものです。

一般的に言って、欲しい人が増えれば価格は上がりますし、提供する人が増えれば価格は下がります。価格は、売りたい人と買いたい人の気持ちで決まることになります。たとえ値札が付いていても、売買されなければ、そのものの価格とは言えないのです。

昔、ある毛皮のコート専門店であった話です。ある高級毛皮コートを、特売で破格の値下げ価格を値札につけたのに、いっこうに売れませんでした。冗談みたいな気持ちで、値札の末尾に“0”を付け加えると、その日のうちにその高級毛皮コートが売れたそうです。買った人は、末尾に“0”がついた方が、高級な毛皮を身にまとっていると考えたのでしよう。

物の価格は、人間の気持ちの表れなのです。人間の気持ちが変わればそのものの値段は簡単に変わります。そのものの資源としての客観的な価値が変わったわけではないのですが、価格は変わります。

そういう価格を積み重ねたものが、国の経済指標として使われているのです。経済成長率などは、このような価格の積み重ねである GDP をもとに計算されているのです。私たちは日々、その変化に常に一喜一憂しているのです。

今使っている資源の埋蔵量が少なくなってくると、供給量が減少してきます。するとそのものの価格が上昇します。その結果、消費量が減ってきます。その代わりに、よく似た資源を消費するようになります。希少な資源の消費が抑えられるようになります。

資源の価格は、資源の無駄遣いを無くすように、自動制御してくれているようです。しかし、人間の尽きることのない欲望を満たすために、次から次へと新たな資源を消費していきます。資源は、無限に存在していると信じているのです。しかし、後から使い始める資源ほど、手に入れて実用化するのにコストがかかることが、一般的に言えます。それで

も手に入れようとしてます。地中奥深く、また、深海にまで探りを入れて資源を探していません。

今まで人間が使ってこなかったものを平気で使うようになってきます。人間が居ない状態で均衡していた地球の生態系を、平気で壊していつています。それでも何ら問題であると思いません。地球生態系にとっては、迷惑この上ない行為です。人間がより一層快適な生活をするためのこのような行為は、驕り高ぶった人間のものなのです。全くそれに気づこうとしません。

物の値段について、もう少し考えてみます。ガソリン1リットルが150円で手に入るとします。そのうち、ガソリンそのものの価格は、一体、いくらぐらいなのでしょう。考えたことがありますでしょうか。8割で120円です。半分で75円です。2割で30円です。

ガソリンそのものの価格とは別に、石油の採掘にかかわる費用は、当然含まれているでしょう。産油地より日本へ輸送される費用や、日本で製油される費用や、ガソリンスタンドまで運んでくる費用も含まれるでしょう。また、石油を貯蔵備蓄している間の費用や、ガソリンスタンド建設費や運営費なども含まれるでしょう。それらは、物財費だけではなく、多くの人件費も含まれるでしょう。物財費や人件費は、まわりまわって、最終的には、誰か人間の手に入ります。

そうすると、ガソリンそのものの値段は一体いくらなのかということになります。しかし、ガソリンそのものの値段が分かっても、そのお金は一体だれが受け取るのでしょうか。また、その値段でガソリンそのものを作り直すことが出来るのでしょうか。ガソリンは太古の昔に作られ始めたものです。人間の手で作れるものではないのです。そう考えていくと、ガソリン価格150円には、ガソリンそのものの価格は、一切含まれていないことに気付かされます。

価格は、人間が便宜上つけたもので、そのものの絶対的な価値を表しているものではないのです。そのような価格に、私たち人間の生活は、日々翻弄されていることになります。生き続けるのに、これで良いのだろうか、時には考えてはいかがでしょうか。

人間に限らず、あらゆる生物は資源を使って生き続けています。当たり前のことです。しかし、すべての生物は、資源に一切お金を払うことなく使っています。人間も、長い間、お金を払わずに資源を使ってきました。人間の社会にお金が出現してから、資源を使う時にお金を払うようになりました。払われたお金は、誰か人間が受け取っていたのです。

人間は、お金を払えば、その資源を使う正当な権利があるように思っています。しかし、価格は、人間が便宜上つけたもので、その資源そのものの価値を表しているものではないのです。まして、価格は、その資源の再調達を可能にしてくれているものではないのです。私たちは、今日まで、あらゆる資源に1円のお金を払うことなく消費してきたのです。

代金を払って購入すれば、その資源を正当な対価を支払って手に入れた、と考えている人が殆どです。1円の対価も支払っていないことに気付いていないです。価格というのは、人間が勝手に、便宜上つけたものにすぎません。資源そのものの価値を表しているものではないのです。

日本で生産されたものでないものでも、安いからということで、日本に大量に輸入されて消費されています。遠く外国で作られたものを、わざわざ日本に持ってきたものが、安いはずはないのです。人間が便宜上つけた価格を、そのものの価値であると思い込み、安

い輸送費で、輸入価格を考えているのです。石油を、その価格で再調達できるのかを考えれば、不当に安い輸送費に気付くはずです。

資源に、一切、お金を払うことなく使ってきたにもかかわらず、問題が起こらなかったのは、地球の大循環に乗せることが出来る資源を、大循環に乗るように使ってきたからなのです。そのような資源の使い方をしてきた生物のみが、生き続けていられているのです。

今日の人間は、そのことを完全に考慮しないで資源を使っています。その結果、資源問題や地球環境問題を引き起こしているのです。そして、人類が生き続けることを不可能にしているのです。誠に愚かなことです。資源を消費する時、価格に惑わされることなく、その資源を消費することと、地球の将来との関連等を十分考慮して、そのものの価値をじっくり考えるべきなのです。

このことは、少し考えれば気付くはずのことです。そのことを直視しないで、いまだに快適な生活を追い求めているのは、知識ばかりがあり、自分の力で考えることが出来ない、知恵の無い人間になってしまっているからです。与えられた情報を鵜呑みにする、指示待ち症候群の子どもばかりが育っているのです。人間がこれからも生き続けることを可能にするために、今の大人は、未来を背負ってくれる子供たちを、自分の力で考えることが出来る知恵ある子どもに一人でも多く育てることが、重大な責務なのではないでしょうか。

理事長 荒木 光 (京都教育大学名誉教授)

<http://plaza.rakuten.co.jp/honkideeco>

2019.7.)

ヒロヤの独り言

無事、総会が終了して

二年ぶりに会員の皆様とお会いして、荒木 碩哉は出席者の皆さんから元気をいただいた。

昼休みに出欠のハガキを拝見してみると、2～3人の先生が未だお見えになっておらず、これからお目にかかれることを楽しみにしておりましたところ、総会が始まって和算研究所理事長 佐藤 健一先生の特別講演が半ばに達したところ、返事をいただいた2～3人の先生方はお見えになっていなかった。

そこで、一言。子供の教育を扱っているものとしては、前日出席の予定であっても、当日何らかの理由で欠席しなければならない事情が起きた場合には、必ず事務局へ連絡するのが望ましい。当日、会場の準備をしている主催者側としては、準備の都合上、少々心配である。当日、欠席の場合、主催者側に無断欠席は良くないと思われる。

さて、6月1日～2日にアーリーサマーキャンプが開催され、埼玉県秩父鉄道まで行ってきた。

私の知る埼玉県は、当初、山はあまりなく、平野の県と思っていた。20年余りに飯能市へ行った経験がありましたが、その時は日系2世のジャネットと共に、関根先生の教場を訪ねた記憶がある。のち、2～3度、関根先生の教場方面を訪ねた記憶がある。

アーリーサマーキャンプで訪ねたときは、峠を一つ越えるとその先は山梨県であると説明された。本年、アーリーサマーキャンプ会場は、秩父鉄道創始者の渋川〇〇さんの現地まで訪ねて行った。私鉄で、同じ鉄道で貨物も客車も走っていた。丁度、JRのような気がした。良く見てみると貨物はセメントの原料を運び出していた。線路の隅のところで、客車がのろのろと走って居た。私は旅行をした経験が少ない。一本の私鉄が、セメントの材料を運んだり、旅行者を秩父から熊谷へ運んでいた。切符は私の子供のころにしていたようにパンチで切っていた。JR熊谷駅で乗り換えると従来の切符に変わった。子供のころの習慣が未だ、生きていた。切符の売り買いが懐かしかった。女の駅長さんが田植えをしながら電車が来ると駅長さんになっておられたことも大変楽しい経験であった。これも創設者の渋沢 栄吉様のおかげである。将来一万円札を見るのが楽しみである。地元の方の話によると、東京駅の基礎の赤れんがは、ほとんど秩父セメントであるように伺って、楽しい限りであった。

2019年7月 荒木 碩哉

Think with SOROBAN

第58回考えるそろばん検定試験施行日は8月18日（日）です。

試験日 令和元年 8月18日（日）全国 一斉
試験会場 IM会員教場・公共施設
申込期間 令和元年 8月1日（木）～8月8日（木）
申込方法 所定の申込み集計表に必要事項を記入の上、ファックスまたはEメールにてお申込みください。

IMそろばん検定部FAX：0297-86-6033

Eメールアドレス：im-kentei@imsoroban.com

受験料 8月9日（金）までに下記口座にお振込みください。

NPO法人 IMそろばん検定部

ゆうちょ銀行 10300-49758291

◆申込集計表等一式を配布いたします。検定の日程を確認の上お申し込みください。

次の考えるそろばん検定試験日程

第59回	2019年10月27日（日）
第60回	2019年12月15日（日）
第61回	2020年 2月28日（日）
第62回	2020年 4月26日（日）
第63回	2020年 6月28日（日）

※検定試験の前には模擬問題練習が有効的です。

※検定試験問題見本のページは一通りご紹介させて頂きました。これからは是非模擬問題をお試し下さい。模擬問題はI.M.そろばん検定部、又は事務局へ電話・メールにてご用命下さい。

サイコウのまなび

理想のお客様ってどんな人？

【こんな生徒に来てほしい】

今までたくさんのお子様を見ていく中で「よい」生徒が何人かいたのではないのでしょうか。そのお子様はどんなお子様でしたか？少し思い浮かべてみてください。

思い浮かびましたか？思い浮かんだお子様を以下 A さんとして進めますが、「よい」と一言で言っても「素直に言うことを聞いてくれる」とか「飲み込みや覚えが早い」とか「向上心があって、自ら成長していってくれる」など、「よい」の基準は先生によってそれぞれだと思います。

もし、教室が A さんばかりなら…いかがでしょうか？

前回のコンテンツ作成の話に引き続き、「どんな相手に向けるのか」コンテンツ作成の準備についてお話します。

【一人を 100%満足させる】

A さんを 100%満足させるにはどうしたらいいのでしょうか。

ここからは A さんをモデルにしてペルソナマーケティングを考えてみましょう。

ペルソナマーケティングを実施するときには、架空のモデルの形「ペルソナ」(名前、年齢、性別、学校名、性格、生活習慣、好きなもの、得意・不得意な教科、家族構成など)を詳細に決める必要があります。

例えば、生活習慣を決めると「どこの道を通ることが多いか」→「こんな看板を目にすることが多い」と看板を出すといった訴求方法の検討を行うことができるかもしれません。また、不得意教科が算数なら「算数が苦手だとこんな悪いことが起こるかも…！(地獄型)」や「得意になったらこんないいことが！(天国型)」などの看板の内容にも影響してきます。

【100%喜ばせると…】

こうして設定したペルソナが喜びそうなことを徹底的に検討・実施していきます。チラシの内容や、ホームページのコンテンツも、すべてペルソナへ向けた内容にします。たった一人を満足させることで、似た属性のターゲットへの満足にもつながります。

マーケティングを実施していると「間口を広くして、とにかくたくさんの人に来てもらいたい」と思いがちですが、実は逆効果であると言われています。マーケティングを学んでいると「誰でも OK はみんなダメ」と言っていることと同義であることがわかります。基礎の基礎には「選択と集中」があり、その最たる例がドレスコードであり、客層やブランド化につながっている…という話を次回はしてみたいと思います。

和算研究家 佐藤 健一先生を迎えて

兵庫県 奥山慎介

講演会の中では「なぜ、こうなるのか？」をしっかりと考えさせる引き出しを持っておられて大変勉強になりました。現場に持ち帰り考察力をどんどん高めていきたいと思います。

また考えさせるそろばん教育は本当に日本に少ない！広める活動としてもどんどん力をいれていきたい。

茨城県 佐藤 信子

小学校の先生方は数学を学ぶ時間は少ないから、和算問題を小学生に指導するのは難しく思われるでしょう。とお話されました。

和算問題は古い算数問題、江戸時代やそれよりずっと昔、鶴亀算は、もともと中国では、きじ・うさぎ算とよばれていた。3世紀に書かれた中国の数学書「孫氏算経」に、すでに、きじ・うさぎ算の問題がのせられていたそう。

江戸時代の面白いがる楽しがる雰囲気はどのようなものだったのか、昔の人のように浸ってみたい。

茨城県 北原美智子

「算数の中でのそろばん」和算大家の佐藤健一先生ありがとうございました。

明治5年に学制公布された算数・数学は、洋算（ヨーロッパの数学、筆算）となる。明治4年の段階で文部省が考えていたのは、そろばんを中心とする（江戸時代の寺子屋、和算）（シルクロードそろばんのルート、東アジアの数学）であったが、5月～8月の間に洋算へ変更となる。明治6年、洋算・和算に精通された小野友五郎氏たちの建言により「筆算を用いるときは、珠算を用いる」の併用となる。昭和～平成でもそろばんが入っていない時期もあり、現在では小学校3、4年生でそろばんを扱うことになりました。教育の歴史とそろばん習熟生の増減、経済状況の動きが比例しているように感じました。言いすぎでしょうか。最後の「目付字」は、とても工夫され脳トレになりました。まだ、100才まで大丈夫だと確信し、願いました。

埼玉県 山本亜季子

大学で算数をやっていないなくても、数Ⅰのみの学習で教員になられているというお話には驚きました。杉成算等、久々に魔法陣を解き、頭の体操になりました。

また、懇親会でも、いろいろなお話をお聞きすることができ、和算以外においても佐藤先生の凄さを感じました。

佐藤先生、本日はお忙しい中、貴重なお話（お時間）をいただき本当にありがとうございます。ありがとうございました。

千葉県 菅 幸子

今年度から理事として、理事会総会に出席させていただきました。先生方のご意見など伺えて、微力ですがこれからのIMそろばんを盛り上げていくお力添えになればと思っております。どうぞ、よろしくお願い致します。

午後は、講師の和算研究科、佐藤健一先生のお話を楽しく聞かせていただきました。その後の懇親会でも気さくにお話して下さり、和やかな時間となりました。

千葉県 喜多 吉子

和算の話になると算数どころかトンデモナイ昔の時代劇を空想し、手に負えない思いに引きずられることもあります。

今回、わたしが聞いたかった話は「今、学校で・・・」という部分でしたので、本音はイライラしました。和算の大家としての「佐藤 健一先生」のお話を伺いながら“やっぱりわからん！”とあきらめてしまいましたが、それにつけても小・中学生の授業・部活の運営、学校生活・等、生徒と先生の立場と行動の不可解も少しでも知りたいと思ったのは私だけだったのかも知れない〜と反省もありました。

今後も、生徒の授業の運び方、検定内容を（基本である和算文章題）十分に把握して和算文章題の解き方の原点から生徒が解き明かすことのできる考え方を勉強したいと思いました。

以上

—研究・研修は教育者の命です—

私たち教育者は、日々、自分自身を売ることによって生計を立てているといえます。自分自身といっても、この場合は“内なる自分を”ということができます。珠算教育に直接関係のあるものはもちろん、教育全般に関するものを始め、人生の先輩として等々の“内なる自分”を売っているわけです。売れば必ずその在庫は減少します。減少したものを常に補充しておかなくては、仕事(教育)を続けることは叶いません。補充をしないと、在庫なしで仕事をするという詐欺まがいの行為になります。この場合の補充は、研究・研修によってなされるわけです。つまり、珠算教育者である限り、常に研究・研修することがなされないと、教育者を続けることはできないのです。昔からの指導法が最善であると信じ込み、研修をしない人や、自分が考え出した指導法が最善のものであると信じ込み、他人の考え等に耳を貸さないような人は、珠算人(珠算塾経営者)であって珠算教育者ではありません。つまり、研究・研修をしない人は珠算教育者であり続けることはできないのです。

研修はどちらかと言えば受動的なものですが、研究はどちらかと言えば能動的なものであるといえます。自ら積極的に研究することは教育者にとって非常に大切なことです。同時に受動的な面をもつ研修も大切なものです。いつも子どもたちを前にしている教育者は、ともすれば“お山の大将”になりがちです。子どもたちから色々なことを学ぶということも大切です。また、他人々の考え方等々から謙虚に学ぶことも非常に大切です。他の先生方の研究発表を聞いたとき、「何だそれくらいのことなら自分はずっと前から分かっていた。いやこれ以上の考えを自分も持っている。何ならそれを教えてやろうか。等々」と思ってしまう人を時々見受けます。他の人の研究発表の少しでも良い点を見抜けないようでは、自分の研究と合わせてさらに発展させた研究などは到底望めません。しかし、多くの人々とともに自らの研究を高めることができない人は“内なる自分”を量的にも質的にも高めることができない人ですから、教育者であり続けることはできません。多くの仲間と共に、真の珠算教育者としての質をより一層高めるために、この珠算研究集会に積極的に参加し、実り多い2日間にしましょう。

理事長 荒木 光

事務局だより

＝ 当会がN.P.O.法人の設立認証を受けたのは平成17年7月19日です ＝

『N.P.O.法人I.M.そろばんの主張する、考えるそろばん』についての研修会は下記のように、理事長と会員と共に、パチパチ弾くそろばんの上達とは一味違う「そろばん教育の道」を歩み、ここまで素晴らしい生徒を育てて参りました。これがI.M.そろばんの目的でした。

そろばん検定試験だけなら“パチパチ弾くといい音が出せるでしょ！”と感動を覚えます。が、「考えるそろばん教育」は考える力・思慮深さが加算（加味）されます。

その様な「恒例！10月の研究集会」を今年も開催します。会員の皆さんと素晴らしい教育法を勉強するチャンス！です。一緒に学び合いに参加しましょう！！

以下、研究集会予定のみ記載します。次号をご期待ください。☆ ☆

■ ハワイオリンピック参加者 渡航説明会 8月12日（日）浦和にて
（問い合わせ：担当＝関根 080-125-0458）

■ 考えるそろばん小学生大会9月22日（日） ・（東京会場：江戸東京博物館
・神戸会場；会員教場）

※別紙・申込書等同封

■ I. M. そろばん研究集会開催 10月13日（日）～14日（祝）

埼玉県「市民会館うらわ」にて開催。 — 詳細は次号に記載！ —

発行	N.P.O.法人I.M.そろばん
発行日	2019年 7月 5日
発行人	荒木 光
企画・編集	山本亜季子
発行所	〒274-0806 千葉県船橋市二和西6-17-17
TEL	047-449-7765
FAX	047-447-3893
	E-mail: im@imsoroban.com
	URL: http://www.imsoroban.com